

投資誘致530億香港ドル超、行政長官 政策に自信 2026年上半期、北部都会区ほか主要な戦略分野に



「海外・中国本土企業歓迎レセプション」でスピーチする李行政長官



同レセプションには世界各国の企業幹部380名以上が出席(6月25日)

李家超(ジョン・リー)行政長官は、香港投資推進局(インベスト香港)が主催した「海外・中国本土企業歓迎レセプション」で、中国から強力な支援を受けつつ、世界各国との緊密なつながりを維持している香港独自の強みを強調し、今年上半期の投資誘致実績に強い自信を示しました。レセプションには、世界各国の企業の代表者ら380名以上が出席しました。

今年1月から6月下旬までに、インベスト香港は海外・中国本土の企業413社の香港での事業設立や拡大を支援しました。これらのプロジェクトによる直接投資は前年同期比36%増の530億香港ドル以上が見込まれ、8,600件以上の新規雇用が創出される見通しです。

金融や先進的物流、観光にも成果

投資は、香港の戦略的経済発展における主要分野にまたがっています。北部都会区の開発と密接に関連するイノベーション・テクノロジー(I&T)のほか、香港が世界最大のクロスボーダー資産管理センターの地位を強化する中で、高付加価値サービスの需要拡大に支えられた金融・ビジネス・専門サービス分野への投資がみられます。観光客数の増加や活況な展示会産業の恩恵を受ける観光・ホスピタリティ、先進的物流や金・コモディティ取引の急速な発展にけん引される物流・産業分野でも成果がありました。

世界競争力ランキング2026 第2位に浮上、19年以来

IMD(スイス国際経営開発研究所)がまとめる世界競争力ランキング2026で、香港は3年連続で順位を上げて第2位に浮上、2019年以来の最高順位を記録しました。

香港の「政府の効率性」は世界2位、「ビジネスの効率性」は3位にランクインしました。競争力を計る各要素では、「税制」や「ビジネスに関する規定」、「金融」、「教育」などで世界最高水準の評価を得ています。

政府スポークスマンはランキングの結果について、「自由で開かれ、安定し、予見性を備えたビジネスフレンドリーな経済政策に加え、法律や規制環境に対する国際社会からの信頼を反映したもの」と受け止めていると述べました。

金の中央清算・決済制度が試験運用開始、取引の国際ハブへ エコシステム構築へ並行して重点施策

香港は今夏、新たな金の中央清算・決済制度の試験運用を開始しました。近代的で統合された金取引エコシステムを構築するための一連の重点施策を並行して実施します。

中央清算・決済制度は、政府が全額出資する香港貴金属中央決済システム会社 (HKPMCC) の管理下で運営されます。同制度は、二国間および店頭 (OTC) の金取引に対し、効率的かつ信頼性の高い清算・決済サービスを提供します。同社は正式な運用開始に向けて改善すべき点を把握するように試験運用を注視します。

重点施策は、上海金取引所との「デリバリー・コネクト」の初期段階の実施、新たな価格コード HAU (香港ゴールド) の導入、金保管・精錬能力の拡大、金投資商品の多様化、税制優遇措置の検討、調和的な保険制度の整備、強制積立

年金 (MPF) による金上場投資信託 (ETF) への投資の柔軟性向上、民間主導の業界団体の設立が含まれます。これらは香港が金の取引、決済、保管の国際的なハブになる上で重要なステップとなります。



金中央清算・決済制度は、近代的かつ包括的な金取引エコシステム構築に向けた8つの重点施策と並行して、試験運用を開始

香港金融市場さらなる発展へ 中国政府が支援 ETFや人民元建て先物商品などで実務協力深める



許金融財務長官(右)は、国家金融監督管理総局(NFRA)を訪れ、肖遠企副局長と会談

中国证券监督管理委员会 (CSRC) と香港証券先物委員会 (SFC) は8月3日、香港・中国両金融市場の協調的発展をさらに進める10項目の新措置を発表しました。実務協力をより深め、国際金融センターとしての香港の役割を強固にするものです。

香港と中国本土の企業の発展とクロスボーダーな資金調達を支援するものであり、株式上場、上場投資信託 (ETF)、指数分野での連携、人民元建て先物商品などの分野を含みます。

陳茂波 (ポール・チャン) 財政長官は、これらの措置が中国本土や海外の投資家にとって中国の着実かつ質の高い経済成長から生まれる投資機会を捉える一助となり、中国本土市場と世界の資本を結ぶゲートウェイである香港の役割を強化するものだとして述べました。

中国の保険基金、香港ETFに投資可能に

許正宇 (クリストファー・ホイ) 金融財務長官は8月18日、中国の国家金融監督管理総局 (NFRA) の肖遠企副局長と会談し、中国本土と香港の資本市場の協調的な発展を促進することで協議しました。

NFRA は、中国本土の保険基金が相互市場アクセス制度に参加することを支援し、中国の保険会社が香港のETFに投資することを認める方針を発表しました。

李家超 (ジョン・リー) 行政長官は、「中国の第15次五カ年計画が香港をグローバルなオフショア人民元ビジネスハブ、国際的な資産管理センター、リスク管理センターとして支援することを明確に示している」として謝意を表明しました。

香港を「企業財務センター」に 政府がアクションプラン 多国籍企業の資金・資産管理視野に

香港政府は、「企業財務センター発展促進アクションプラン」を発表し、多国籍企業の企業財務センターの主要拠点としての香港の地位を強化する戦略を示しました。今後のロードマップを提示し、企業の「誘致」と「海外展開」を支援するプラットフォームの役割を強化するものです。

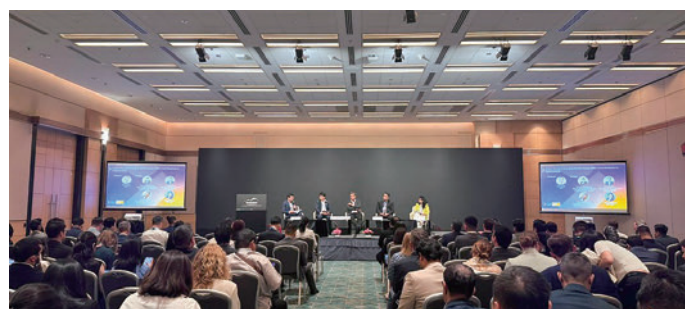
金融財務省と税務局、香港金融管理局 (HKMA)、香港投資推進局 (インベスト香港) が共同で策定した同プランでは、税優遇策の洗い直しや課税の予見性の向上を図りました。二重課税防止に向けて、租税条約の締結国・地域も現在の約60からさらに増やします。多国籍企業が資金管理や資産の配分・配置、リスク管理を香港で出来るような枠組みを採用します。政府は今年中に公聴を開始します。



金融財務省、税務局、HKMA、インベスト香港が6月9日、「企業財務センター・フォーラム」を開催

アジア気候サミット、香港で初開催 脱炭素化の未来形作る会合に

国際排出量取引協会 (IETA) が主催する「アジア気候サミット」が、今年初めて香港で開催されました。



香港コンベンション&エキシビションセンターで開催された同サミットでのパネルディスカッション(写真提供: アジア気候サミット)

許正宇(クリストファー・ホイ)金融財務長官は、炭素市場とグリーンイノベーションの未来を形作る重要な会合であると強調、香港は中国本土とアジア、さらには世界の他の地域とのチャンスを橋渡しする準備が整っていると述べました。

2025年、香港で発行されたグリーン・サステナブル債の総額は760億米ドルを超え、特に香港で手配された同債の額は約380億米ドルに達し、2018年以来8年連続でアジア首位となっています。

香港は2019年以降、「政府サステナブル債券プログラム」の下、総額330億米ドル近くのグリーンボンドを発行。昨年11月には、トークン化された中央銀行通貨を組み込んだ世界初のデジタルグリーンボンドをe-CNY (デジタル人民元) とe-HKD (デジタル香港ドル) の両通貨建てで発行しました。

グリーンな船舶燃料の利用、寄港や船舶登録の促進へ新制度 海事局、海運業界の転換加速を後押し

海事局は6月、グリーン船舶燃料の利用を促し、香港の海運業界のグリーン化を加速させるため、2つの奨励制度(3年間)を開始しました。香港をグリーン港として発展させ、海運業界の脱炭素化を支援します。

新たな「グリーン船舶燃料関連船舶向け港湾使用料奨励制度」の下では、液化天然ガス(LNG)、メタノール、アンモニア、水素、バイオディーゼルなどの指定グリーン燃料を使用、給油、積載する外航船に対し、港湾使用料の25%または50%を還付します。これにより、グリーン船舶燃料関連船舶の寄港が1,000回以上見込まれています。

もう一つの「グリーン船舶登録奨励制度」では、LNG、メタノール、アンモニア、水素を燃料とする香港登録船舶に、年間6万香港ドルの補助金を支給します。3年間で1隻あたり最大18万香港ドル受け取ることができます。この制度で、約100隻の新規グ

リーン船舶が誘致され、合計で約170隻の船舶が恩恵を受けると見込まれます。



運輸物流省は4月、行政主導では世界初と言うグリーン船舶燃料に関するトレーナー養成プログラムを開催

B2Cビジネスのグローバル拠点に 日系5業態が進出・事業拡大 富裕層の厚さ、堅調な経済に期待大きく

今年に入り、B2C（企業対消費者間）ビジネスのアジア重要拠点として日系企業による香港での初店舗オープンや事業拡大が相次いでいます。香港投資推進局（インベスト香港）が支援した企業だけで飲食や衣料品、化粧品、フィットネスジムなどの5業態があり、今後も勢いが続きそうです。

香港人の北上消費は現在も続いている一方で、中国本土や海外から香港への渡航者も戻ってきており、年間の来港者数は約

5,000万人に達しています。

海外からの事業進出が増えている背景には、香港の富裕層の厚さと個人消費力の高さ、戦略的な立地、堅調な経済、低税率、世界的な食の都・ショッピングのメッカとしての評価が挙げられます。アジア市場への足掛かりとしても、香港の活気ある消費者市場からは目が離せません。



本格的な江戸前寿司「がってん寿司」（第3店舗）Trend Plaza@Tuen Mun（4月9日）



原宿発老舗ブランドユーズドセレクトショップ「RAGTAG」（初出店）Hysan Place@Causeway bay（7月31日）



フレグランス&化粧品ブランド「SHIRO」（初出店）K11 Musea@Tsim Sha Tsui（5月1日）



実用性と美しいデザインを重視したファッションブランド「comcoca（日本ではcoca）」（初出店）Mira Place@Tsim Sha Tsui（6月18日）



香港の旗艦店としてコンビニジム「chocoZAP 銅鑼灣店」（第23店舗）Cathay Mansion@Causeway bay（6月23日）

ASEAN商工会議所(香港)設立、中国・香港との貿易・投資促進へ 北部都会区視察ツアー盛況

ASEAN 商工会議所(香港)（ACCHK）が設立されました。中国と香港、ASEAN 間の貿易・投資を双方向で促進することが目的です。ASEANは16年連続で香港の2番目に大きな貿易相手国です。

北部都会区の開発を促進するため、ACCHKは「北部都会区専門家委員会」を設置。香港投資推進局（インベスト香港）の支援の下、ACCHK、政府の北部都会区調整事務所、香港・深圳イノベーション・テクノロジーパークの3者が共同で視察ツアーを実施し、ASEANの代表団、企業関係者ら100名超が北部都会区の開発の進展ぶりを見学しました。



視察ツアーに参加したASEAN代表団と企業関係者（6月30日）

香港貿易発展局60周年 東京・大阪でビジネスセミナー開催

香港経済貿易代表部の林首席代表、香港の戦略的地位を解説

香港貿易発展局(HKTDC)は創立60周年を記念し、7月17日に東京、7月27日に大阪で「ビジネスセミナー&レセプション」を開催しました。香港のグローバルビジネスハブとしての役割を紹介するとともに、中国本土やアジアとの「スーパーコネクター」としての役割を強調しました。

香港経済貿易代表部の林玉婷(ジリアン・ラム)首席代表は東京・大阪の両イベントで、香港の中核的な強み、現在進行中の開発、主要なゲートウェイとしての戦略的地位について講演。日本企業に対し、新たな機会を活用するよう呼びかけ、特に「北部都会区」を国際的なイノベーション・テクノロジーハブとして発展

させるための政府の取り組みを強調しました。さらに、香港のグリーンファイナンスやリスク管理能力を強化するための政府の取り組みにも言及しました。



林首席代表が東京のセミナーでスピーチ

「東京ギフト・ショー」への香港代表団歓迎

香港経済貿易代表部、インベスト香港、貿易発展局がレセプション

香港経済貿易代表部は、9月2～4日に東京ビッグサイトで開催された「東京インターナショナル・ギフト・ショー2026」出展のため来日した香港代表団を歓迎しました。代表団は14社22人

から成り、20のライフスタイルブランドを披露。香港らしい「東西文化融合」のクリエイティブな生活雑貨を世界のバイヤーに紹介しました。

歓迎レセプションでは、香港経済貿易代表部の林玉婷(ジリアン・ラム)首席代表があいさつし、香港のライフスタイルグッズは、「東西融合」を鮮やかに示す分野であり、「香港のデザイナーたちは日本のアニメ、スイスの時計製造、広東オペラ、バウハウス・デザインといった多様な文化やデザインからインスピレーションを得て、それが強みになっている」と語りました。

香港政府は、香港企業の海外展開と国際市場への進出を支援することに取り組んでいます。香港経済貿易代表部と香港投資推進局(インベスト香港)、香港貿易発展局(HKTDC)は、2025年に始まった施策「Economic and Trade Express」を通じて緊密に連携し、香港企業と海外市場、潜在的なビジネスパートナーを結び付け、商機獲得を支えています。



貿易発展局主催の歓迎レセプションに出席した「東京インターナショナル・ギフト・ショー2026」参加の香港代表団メンバー

高等教育のハブへ、「JASSO留学フェア」に初参加

香港経済貿易代表部、香港留学のメリット発信

香港経済貿易代表部は今夏、東京で開催された「JASSO 海外留学フェア2026」に初めて出展し、来場した大学生や高校生、保護者らに香港留学のメリットをアピールしました。

独立行政法人日本学生支援機構(JASSO)が毎年開催する同フェアは、世界各国の大使館など公的機関が参加し、今年は欧米やアジアなどの27カ国・地域が出展しました。

香港経済貿易代表部は出展ブースやセミナーで政府のビジョンと共に、香港が誇る世界トップクラスの大学や国際的な高等教育ハブとしての強み、多角的な学術プログラム、奨学金制度などを紹介しました。また、現役学生がキャンパスライフや多様性に

富んだ社会、卒業後のキャリアパスといったリアルな情報をあわせて共有し、日本の学生の主要な選択肢になる香港の姿を伝えました。



ブースで来場者の相談を受ける香港経済貿易代表部のスタッフ(7月25日)

ドラゴンボート日本選手権で「香港カップ」初開催 香港から参加の「Woof DRAGON」が優勝

香港経済貿易代表部が初めて協賛した「2026日本国際ドラゴンボート選手権大会」が、大阪・天満橋周辺の大川で開催されました。協賛に伴って創設された「香港カップ」ドラゴンボートレースでは、香港から参加したWoof DRAGONが優勝を果たしました。

開会式では香港経済貿易代表部の林玉婷(ジリアン・ラム) 首席代表が、レース開催を祝う入魂式に参加し、ボートの船先の竜に目を描き入れ、参加全35チームの健闘を祈願しました。授賞式では、スモールの部(漕ぎ手10人)の3カテゴリー(オープン、混合、シニア)と香港カップの1~3位入賞チームそれぞれに盾を授与しました。

香港経済貿易代表部は大会で、PRブースを設置し、香港の最新情報や文化、観光、ビジネスの機会を紹介しました。



香港カップで優勝したWoof DRAGONのメンバーたちと林首席代表(右から2人目)、日本ドラゴンボート協会の長谷川伸理事長(林首席代表の左隣)(7月19日)

アジアユースオーケストラ 東京でフィナーレ 14カ国・地域から若手、友情育む



8月22日の東京での公演で聴衆から盛大な拍手を浴びた若手音楽家たち

アジアユースオーケストラ(AYO)は8月22日、21日間にわたった集中リハーサルの後、アジア9都市で11回の公演を開催、東京でフィナーレを迎えました。中国や台湾、日本など14カ国・地域から集まった97人の若手音楽家たちは、この旅を通じて強い友情の絆を結びました。

フィナーレには、36年前にアジア各地の才能ある若手音楽家たちを結集させるという夢を抱いたAYOの創設者、故リチャード・パンチェス氏に敬意を表する、特に意義深い場となりました。

越後妻有アートフィールド 「香港ハウス」11月上旬まで 香港アーティスト2人の企画展

新潟県津南町の滞在制作兼ギャラリー施設「香港ハウス」は、今年は7月18日に開館し、11月上旬まで来場者の鑑賞を受け入れています(9月5日~11月8日は土日祝開館)。

今年のプログラムでは、香港出身のアーティスト、林蔚彦(トビー・クリスピー)氏と余美玲(ミレ・ユ)氏の作品を紹介する企画展「+田人 STITCH OUR INNER LAND」を開催しています。

香港ハウスは、越後妻有アートフィールドと香港との常設の文化交流拠点の役割も担っています。



香港のアーティストが自身の作品について解説

香港国際ドラゴンボートレース節目の50周年

過去最大規模、夏のグルメ・エンタメ祭典に

2026年「サンライフ 香港国際ドラゴンボートレース」は今年、記念すべき50周年を迎えました。6月19日から7月1日まで尖沙咀のプロムナード一帯で、過去最大規模、13日間にわたるレースやイベントが開催されました。

6月27、28日には世界クラスのレースが競われたほか、活気に満ちたライブエンターテインメントや文化ワークショップ、グルメ・ビール祭りが企画され、ビクトリアハーバーは夏の一大祭典の場となりました。



フェンシング世界選手権、香港に歴史的な銀メダル

香港初開催、男子フルーレ団体戦で栄誉

「2026年フェンシング世界選手権」が7月下旬、アジアワールド・エキスポで盛況のうちに幕を閉じました。香港がこの権威ある大会を開催するのは初めて。9日間にわたり、世界トップクラスのフェンサーたちがスリリングな試合を繰り広げました。

男子フルーレの中国・香港代表チームは、団体戦で香港史上初となる銀メダルを獲得し、歴史に名を刻みました。

男子フルーレの中国・香港代表チームは、団体戦で香港史上初となる銀メダルを獲得し、歴史に名を刻みました。



2026年フェンシング世界選手権大会が香港で初開催

世界の舞台で素晴らしいパフォーマンス、揺るぎない闘志を見せた(左から)梁千雨選手、何承謙選手、蔡俊彦選手、張家朗選手

香港フットボールフェス 欧州強豪4チームが登場

「香港フットボールフェスティバル」が今夏開催され、欧州のトップクラブ4チーム、「マンチェスター・シティ」「インテル・ミラノ」「チェルシー」「ユヴェントス」が香港を訪れ、ファンを熱狂させました。

最新鋭設備を備え、5万席を誇る啓徳スタジアムで、注目の2試合が開催され、香港が世界的なスポーツイベント開催地であることをアピールしました。



香港経済貿易代表部 (中華人民共和国 香港特別行政区政府 駐東京経済貿易代表部)

〒102-0075 東京都千代田区三番町30番1号 香港経済貿易代表部ビル
Tel : 03-3556-8980 Fax : 03-3556-8970 (代表部)
Tel : 03-3556-8961 Fax : 03-3556-8960 (企業・人材誘致専門室 兼 投資推進室)
E-mail : tokyo_enquiry@hketotyo.gov.hk

www.facebook.com/hketo.tokyo/
www.instagram.com/hketo.tokyo/
www.x.com/hketotokyo

香港特別行政区政府
ポータルサイト

www.gov.hk

政府広報局提供の
無料ニュースサービス

www.news.gov.hk

ブランド香港
Facebookページ

www.facebook.com/brandhk.isd

香港経済貿易代表部の
ホームページです!

www.hketotyo.gov.hk

